

第2回「事業再構築補助金」の採択結果について

8月下旬に第2回事業再構築補助金の採択結果が公表されました。第1回と比較したものをまとめてみましたので以下ご確認ください。

<第1回公募>

	中小企業			中堅			合計
	通常	特別	卒業	通常	特別	V字	
①応募件数	16,897	5,167	80	71	14	2	22,231
②要件を満たした応募件数	14,783	4,315	69	60	11	1	19,239
③採択件数	5,092	2,859	45	12	7	1	8,016
④-①採択率	30.1%	55.3%	56.3%	16.9%	50.0%	50.0%	36.1%
④-②採択率	34.4%	66.3%	65.2%	20.0%	63.6%	100.0%	41.7%
※要件満たさない件数	2,114	852	11	11	3	1	2,992
※要件満たさない件数率	12.5%	16.5%	13.8%	15.5%	21.4%	50.0%	13.5%

<第2回公募>

	中小企業			中堅			合計
	通常	特別	卒業	通常	特別	V字	
①応募件数	14,800	5,884	48	59	9	0	20,800
②要件を満たした応募件数	13,174	5,071	36	45	7	0	18,333
③採択件数	5,367	3,919	24	21	5	0	9,336
④-①採択率	36.3%	66.6%	50.0%	35.6%	55.6%		44.9%
④-②採択率	40.7%	77.3%	66.7%	46.7%	71.4%		50.9%
※要件満たさない件数	1,626	413	12	14	2		2,057
※要件満たさない件数率	11.0%	13.8%	25.0%	23.7%	22.2%		11.8%

第2回の全体の採択率は、第1回と比較するとアップしております。応募件数に対しては **44.9%** (第1回 36.1%)、要件を満たした応募件数に対しては **50.9%** (第1回 41.7%) となっています。

さらに緊急事態宣言特別枠については、応募件数に対しては **66.6%** (第1回 55.3%)、要件を満たした応募件数に対しては **77.3%** (第1回 66.3%) となっています。要件を満たしていれば、約 8 割の採択率です。今後、「緊急事態宣言特別枠」が継続されたとしたら、やはりこの枠に申請できれば採択される可能性は非常に高いと想像できます。

<詳細>採択結果(事務局 HP)

<https://jigyousaikouchiku.go.jp/result.php>

第3回公募は「最低賃金枠」を狙う!!

第3回公募(令和3年9月21日締切)においては、最低賃金の引上げの影響を受け、特に業況の厳しい中小企業等を対象とする「最低賃金枠」が新設されています。本枠においては、**加点措置が行われ、緊急事態宣言特別枠に比べて優遇されます。** 繰返しになりますが、第2回の緊急事態宣言特別枠の採択率は 77.3%(要件満応募)です。これより優遇されるとなると、採択率はさらに高くなるのでしょうか?! 全体的に採択率を調整するかもしれません

が、「最低賃金枠」に合致する事業者の方は、本枠に申請することをお勧めします。今後、第4回、第5回公募において最低賃金枠が実施されるかどうかは分かりませんが、注目すべき新設枠です。

その他の補助事業の採択率について

補助事業は、事業再構築補助金ばかりではありません。事業者の置かれている状況や必要となる対象経費などを考慮して補助事業を選択するようにしましょう。ちなみに、直近(8月以降)で採択結果が公表された補助制度は以下の通りです(一部)。

- 令和2年度第3次補正予算「小規模事業者持続化補助金<低感染リスク型ビジネス枠>」
→応募 10,205 件、採択 5,361 件 **(52.5%)**
- 令和元年度補正予算「小規模事業者持続化補助金」の「一般型(第5回締切分)」
→応募 12,738 件、採択 6,869 件 **(53.9%)**
- 令和2年度第3次補正予算「事業承継・引継ぎ補助金」(2次公募)
→経営革新: 応募 375 件、採択 187 件 **(49.9%)**
→専門家活用: 419 件、採択 330 件 **(78.7%)**
- 令和3年度当初予算「ものづくり・商業・サービス高度連携促進補助金(1次公募)」
→応募 16 件、採択 8 件 **(50%)**
- 令和2年度被災小規模事業者再建事業費補助金「持続化補助金(令和2年7月豪雨型)2次」
→応募 212 件、採択 199 件 **(93.9%)**

これらの結果を見ると一目瞭然ですが、小規模・中小事業者向けの補助事業の採択率はとても高いです。特に被災者対象となると 90%を超えています。豪雨や台風などの被災は受けないに越したことはありませんが、もし被災にあった場合、このような補助制度が実施された際には(申請できる事業者の方は)申請しなくては損である、という見方もできます。

なお、補助事業(公募、結果等)については、様々な関連サイトから検索できますが、一例として、以下の中小企業庁のページも参考になります。

<補助金公募案内> <https://bit.ly/3nrbW04>

コロナ禍を乗り切るためにも、活用できる補助制度があれば是非ともチャレンジしてみてください!!